TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまは愛　御子の内にとどまる
ヨハネの手紙第一 2 章 24 - 28 節

2026 年 2 月 24 日 & 25 日
余沢　武　牧師

I. はじめに

こんにちは。今日はのちほど聖餐式を執り行います。心の準備をしておきましょう。

ヨハネの手紙一では、福音を受け入れることによって、御子イエスと父なる神との交わりが始まり、神の永遠の命を分かち合うことを学びました。「この世の愛」と「反キリストの偽りの教え」に邪魔されることがあると、聖霊がそれらを乗り越える手助けをしてくれます。

今日は、そのような状況で私たちがいかに生きるべきかを考えてみましょう。まず、祈りましょう。

II.御子の内にとどまる

(1)使徒たちの教えを心に留めなさい

ヨハネの手紙一 2 章 24 節「24 初めから聞いたことが、あなたがたの内にとどまるようにしなさい。初めから聞いたことが、あなたがたの内にとどまるならば、あなたがたも御子と御父の内にとどまります。」

「初めから聞いてきたこと」とは、福音と使徒たちの教えを指します。本当の意味で聖書全体のことを指します。ただここでは、主題はこれらの事実についてです:
イエスは「神の子」である。「人間の肉体」を持って現れ、私たちの罪のために亡くなり、 3 日後に復活された。
私たちが自分の罪を認め、神の赦しを受け入れ、私たちを変えてくださるよう神に助けを求めれば、神の聖霊は私たちが神の「真理と基準」に従って生きられるように助けてくださる。

ヨハネは、これらが「私たちの内にとどまるように」と言っています…。
私たちはこれを常に思い出し、私たちの「考え」や「行動」の決断を委ねる必要があります。
言い換えれば、自分が罪を犯していることを認め続け、赦しを受け入れ、「聖霊の助け」を受けて神の「真理と基準」に従って生きる必要があるのです。

ヨハネはもし私たちがこれを行うならば「あなたがたも御子と御父の内にとどまります」と言っています。私たちはイエスとの親密で個人的な相互関係を持つことで継続的なコミュニケーションを維持することになります、つまりそれは父なる神との親密で個人的な相互関係の内にいることになります。

それはまるで幼い子どもと愛情深い両親との関係のようです。
愛情深い親がしてはいけない事を教えることで、子どもは耳を傾けて言われたように行動します。
しかしうまくできない時は、両親は優しくこどもを助けるでしょう。
そんな時は両親が子供にアイスクリームのような、何か新しいものをあげるかもしれません。子どもはすっかり夢中になるでしょう。
子どもはどこへ行くにも親の手をしっかり握り、自分は愛され守られ、安全であることを知っているのです。

私たちは自分の罪を認め続け、赦しを受け入れ、助けを求めそして受ける。私たちはこの御子と御父との親密で個人的な相互関係の内にいるようになるのです。私たちは御子の内と御父の内にとどまるのです。

25 節です。「25 これこそ、御子が私たちと交わされた約束、永遠の命です。」

ヨハネは、御子と御父との「この関係」が約束された「永遠の命」だと言っています。

数週間前に「永遠の命」がどのようにロウソクの明かりに似ているか学んだことを覚えていますか？
ロウソクが灯されると光を放ちます。もし私たちがロウソクのある部屋にいれば、そこには光があります。でも光は私たちの中にではなく、ロウソクの灯の中にあります。ロウソクの灯りがなければ、光は存在しません。
同じように、イエスは「永遠の命」です。もし私たちがイエスと共にいて、イエスとの親密で個人的な相互関係の中にいれば、私たちは命を得るでしょう。もしそれがなければ、私たちは命を持てないでしょう。

自分の罪を日常的に認めつづけ、神の赦しを受け入れ、神の助けを求めそして受け、そしてこの御子と御父との親密で個人的な相互関係を持つ時、私たちは御子と御父の内にとどまることになります。そして私たちは「永遠の命」を持ち生きていくことになります。

ある日、私たちが天国にたどり着いたとき、この「親密で個人的な相互関係」つまり「永遠の命」は、その可能性を最大限に発揮するでしょう。私たちは皆この完全なる「一致」の内にあるでしょう。

(2)欺き対油注ぎ

26～27 節です。「26 あなたがたを惑わす者たちについて、以上のことを書きました。27 あなたがたの内には、御子から注がれた油がとどまっているので、誰からも教えを受ける必要はありません。この油があなたがたにすべてのことを教えます。それは真理であって、偽りではありません。ですから、その油が教えたとおり、御子の内にとどまりなさい。」

「あなたたちを惑わす者たちがいる」間も、「御子(聖霊)から注がれた油がとどまっている」とヨハネは言います。聖霊は「あなたがたにすべてのことを教えます。」

私たちが御子と御父に留まり、自分の罪を認め、神の赦しを受け入れ、神の助けを求めて受けるとき、私たちをそこから引き離そうとする欺きが現れるでしょう。

「肉の欲」-私たちの生まれながらの欲望を罪深い方法で満たして幸福を見つけようとする衝動･･･不道徳な行為、酩酊、激しい怒りなど、「目の欲」-目につくものから幸福を見つけようとする衝動･･･衣服、バッグ、電子機器、車、家、お金など。
「自分の所有物を誇る」-尊敬、賞賛、地位によって幸福を見つけようとする衝動。

これらは「偽りの教え」でもあるでしょう。でもそれは克服できます。なぜなら私たちの内には「聖霊から注がれた油」がとどまっているのです。聖霊は絶えず私たちに罪と希望を思い出させ、私たちは御子と御父の内にとどまることができ、そして命を持ち続けることが出来るのです。

何年も前、私が神学校の生徒だった時、友人を通して専門学校で英語を教えるパートタイムの仕事を得ました。そこで教科書を受け取り、生徒全員の教材にするためにコピーを取るように言われました。そこでその通りにしました。

ある日、私はその行為は著作権侵害だと気づきました。ある朝、QT(神さまと過ごす聖書と祈りの時)のときに、わたしは神と格闘しました。学校か生徒たちが教科書を買うべきなのだと気づいたのです。ですが…
とても面倒くさい事でした。やりたくありませんでした。(肉の欲)
その仕事と、自分の主な収入を失うかもしれません。(目の欲)
私はトラブルメーカーだと見なされるでしょう。(自分の所有物を誇る)

私は祈りました。聖霊がこれは自分の感情やお金、評判の問題ではないのだと、私を納得させてくれました。自分の罪を認め、神の赦しを受け入れ、正しい行いをするべきだ。」私は学校に、生徒全員に教科書を購入させると伝えることにしました。私はこうも決意しました。
もしノーと言われたら、自分のお金でその本を買って、生徒たちに渡す。
学校側がコピーした資料を使用すると主張したら、私は誠意をもって仕事を辞める。

神を褒めたたえます！学校は私の申し出を快く受けてくれました。これこそが私たちが御子と御父の内にとどまる方法です。聖書によれば、これが「永遠の命」なのです。

2 週間前、日曜日に教会に行く前のことです。以前私がどのように完璧主義者で、変えられたかを皆さんにお話しした時です。そう、神は私を謙虚にしてくださいました。その朝私のハンカチが見当たりませんでした。そこで美樹に「私のハンカチみんなどこにあるか知ってる？」と尋ねました。

美樹は「アイロンをかける時間がなかったから、私の引き出しに入れておいたの」と言いました。彼女は優しい人です。私のためにハンカチにアイロンをかけてくれます。
私は「なるほどね。」それからちょっと皮肉っぽく、微笑みながら「なんだ、隠してたの！」と言いました。そして「しょうがない、忘れて、もういいから」と家を出ました。

家を出た途端に、心の中でこう言う声がしました。「なぜあんなこと言ってしまったんだ？彼女がどん

な気持ちになるだろうか？『心配しないで、ハンカチならあるから』と言えばよかったのに。そうして皆には、昔は厳格な完璧主義者だった、そしてもう変わったと言うのか？」

聖霊は私の自己中心欲―-肉の欲を叱責してくださいました。私は自分の罪を認めました。教会に到着して最初にしたのは、美樹にメッセージを送り、赦しを請うことでした。このようにして私たちのような罪人は御子と御父の内に留まりつづけることが出来るのです。これが「永遠の命」です。

その日の午後、きちんとアイロンがけされた 3，4枚のハンカチが私のオフィスの机の上に置いてありました。美樹はすばらしいです。

ソーシャルメディアやインターネット、様々な機会を通して性的な誘惑を受けることもあるでしょう。同様に、聖霊は私たちに悔い改め、または誘惑から逃れよう促してくださいます。自分の罪を認め神の助けを受けることで、私たちは御子と御父の内にとどまるのです。これが「永遠の命」です。

ヨハネは「誰からも教えを受ける必要はありません」と言います。私たちにはさらなる知識は必要ありません。私たちの必要はすべて福音、使徒たちの教え、そして聖書にすでに備わっているのです。

そうです、神は私たちが教えを受ける牧師や教師を与えてくださいました。でもそれはおもに、私たちが既に知っていることを思い起こさせ、罪の自覚を受け入れて聖霊の助けを受けるように励まし、そして私たちが御子と御父の内にとどまるようになるためでした。それが「永遠の命」なのです。

(3)最後の結果

28 節です。「28 そこで、子たちよ、御子の内にとどまりなさい。そうすれば、御子が現れるとき、私たちは確信を持ち、御子が来られるとき、御前で恥じることがありません。」

もし私たちが御子の内にとどまり続けるなら、自分の罪を認め、赦しを受け入れ、御子に助けを求めるなら、イエスが再臨するとき、あるいはイエスに会う日に、私たちが恥じることは何もないはずです。

アメリカンフットボールでは、全員の選手がヘルメットを被ります。プロのレベルになると、ボールを投げるクォーターバック(QB)のヘルメットには、無線受信機が内蔵されています。それでコーチからの指示を聞くことができるのです。これは、私たちが聖霊や聖書を通して指示を受けるのと似ています。

クォーターバックが謙虚に指示に耳を傾け、従えるならば、何でもコーチの望むとおりにするでしょう。私たちのコーチは完璧な計画を持ち、私たちの成功を助けてくれる神です。神の言うことを聞けば、優勝は間違いありません。

そして試合後に神に会う時は、喜びの再会となるでしょう。私たちは神をハグします。神も私たちをハグして「よくやった、私の優秀で忠実なしもべよ」と言うでしょう。ヨハネは言います。でももし神の教えを無視していたら、私たちは「人生の興奮」を逃し、神に会うその日に「恥ずかしい」思いをする、と。
だからこそ、私たちは自分の罪を絶えず認め、赦しを受け入れ、神の助けを求めて受けるのです。そうすることで、私たちは御子と御父の内にとどまり続け、今も神と共に永遠の命を生きられるのです。

そしてこれが、私たちが聖餐式を行う理由でもあります。パンは、私たちが生きるために命を捧げてくださった「神の子イエス」を思い起こさせます。

杯は、十字架上で流されたイエスの血によって「私たちは赦されている」ことを思い起こさせます。

そして私たちは食べて飲むときに、永遠の命がその可能性を最大限に発揮する---「イエスの再臨」に「希望」を持つことを宣言します。その時私たちは皆この完全なる一致の霊をもつでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg0426jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月 8 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
2月22日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み： https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org